

FUJITA

**2025年3月期
決算補足説明資料**

2025年05月15日

株式会社フジタコーポレーション

証券コード:3370

○2025年3月期は増収、経常利益を除き増益となった

売上高 : ベビーフェイスプラネットの新規出店（4月）、かつてんイオン桑園店の取得（5月）及び既存業態の堅調推移、子会社売上の増加によって、前期より447百万円増加。一方閉鎖店の影響等により114百万円減少したものの303百万円の増収となった。

営業利益 : 新規出店による開業経費や人材投資等を吸収し営業利益は増益となった。

経常利益 : 金融諸費用の増加で減益となった。

(百万円)

	24.03期		25.03期		前期比		年間計画	
	実績	売上高比	実績	売上高比	金額	対比	計画	進捗率
総売上高	4,588		4,892		303	106.6%	4,957	98.7%
売上総利益	2,646	57.7%	2,891	59.1%	245	109.3%	2,826	102.3%
営業利益	93	2.0%	113	2.3%	20	121.3%	131	86.3%
経常利益	127	2.8%	112	2.3%	▲15	88.2%	140	80.0%
親会社株主持分に 帰属する当期純利益	52	1.1%	96	2.0%	44	184.1%	105	91.4%

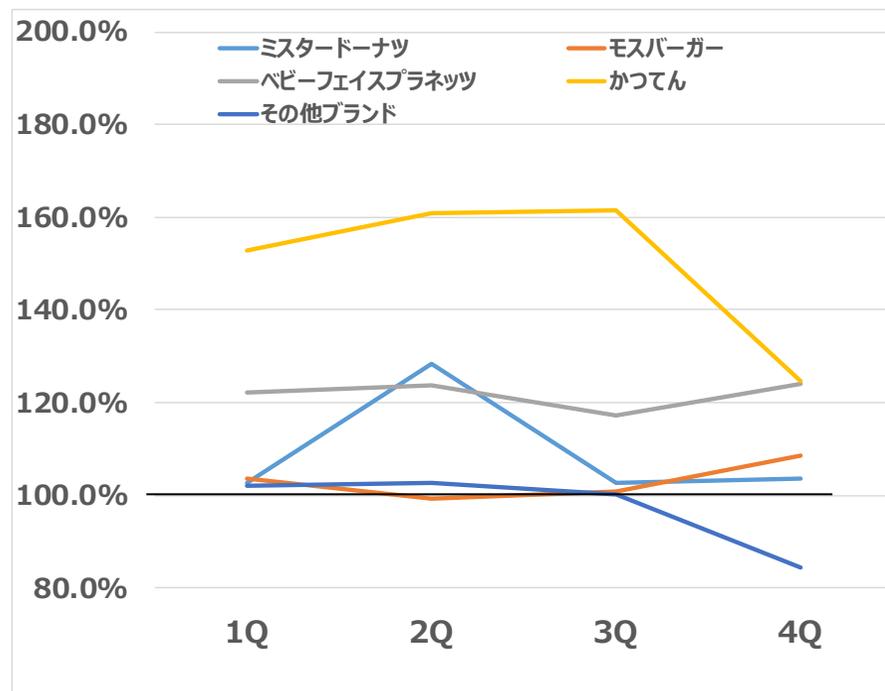
○セグメント別ー売上高実績

- 飲食小売部門が前期から+397百万円（前年同期比106.6%）
- 連結子会社の売上増加+50百万円
- 製造事業の売上減少△28百万円（前期ふるさと納税ルール変更に伴う影響）
- 事業閉鎖による売上影響△114百万円

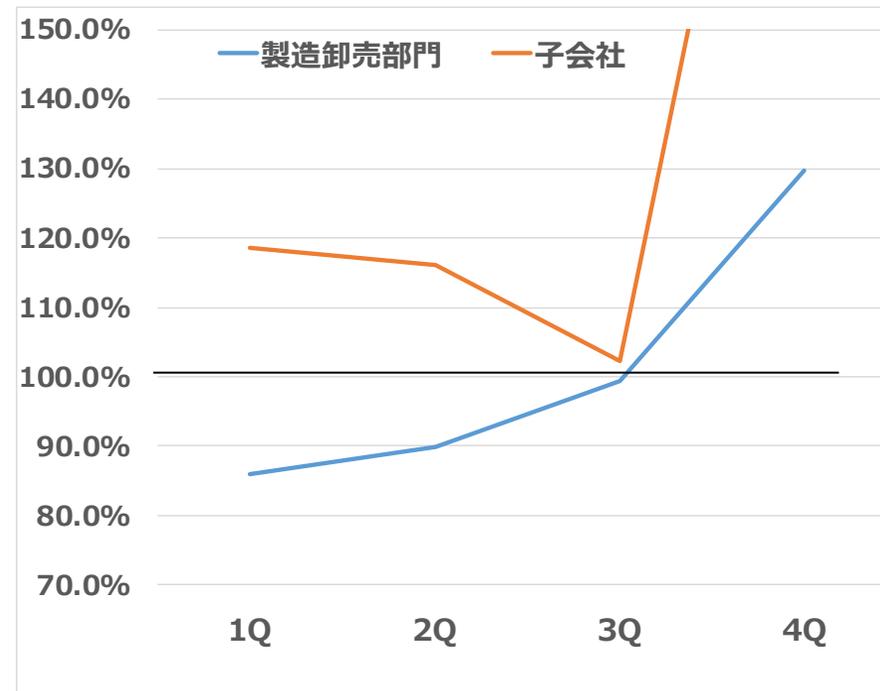


売上高前年比の推移（既存店）

- 飲食・小売部門においては、主要ブランドで前期より伸長しているが、テナント本体の改装に伴う休業等によりその他ブランドはやや下回る結果となった。
- 製造卸売においては、前期並みの水準となった。
- 子会社農畜産部門は乳牛増頭施策により順調に伸長し前期比122%となった。



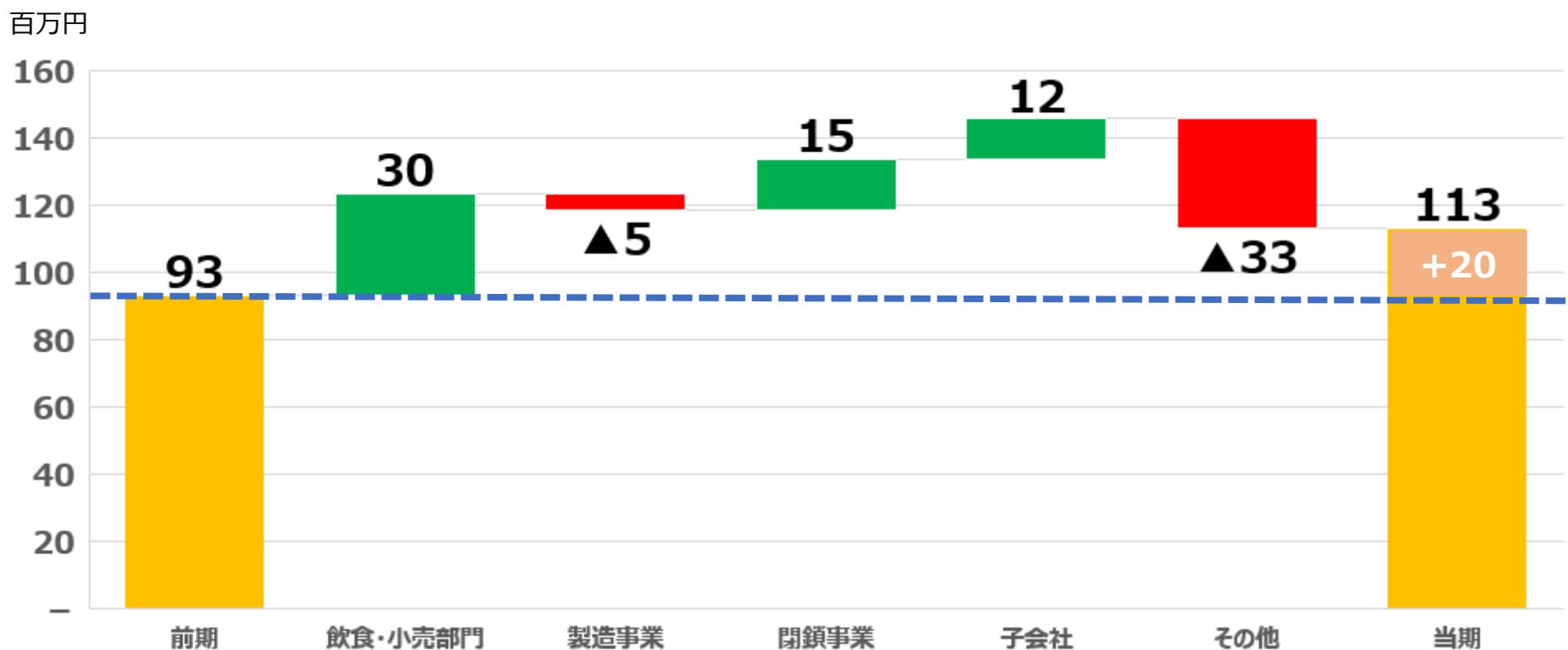
部門名	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ミスタードーナツ	102.7%	128.4%	102.7%	103.4%	108.5%
モスバーガー	103.4%	99.3%	100.7%	108.5%	102.8%
ベビーフェイスプラネット	122.3%	123.6%	117.3%	123.9%	121.8%
かつてん	152.8%	160.7%	161.4%	124.7%	148.6%
その他ブランド	102.1%	102.7%	100.2%	84.3%	96.8%



部門名	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
製造卸売部門	85.9%	89.9%	99.4%	129.8%	100.4%
子会社	118.6%	116.2%	102.2%	230.7%	129.8%

○セグメント別ー営業利益実績

- 飲食・小売部門が前期から30百万円
- 製造事業が前第3四半期から△5百万円（ふるさと納税ルール変更に伴った売上減少による影響）
- 事業閉鎖による利益影響 + 15百万円
- 連結子会社+12百万円
- 特定技能外国人雇用及び新規出店開業経費等により△33百万円



○連結貸借対照表

(百万円)

	前期末	当期末	増減額
流動資産	855	705	▲149
現金及び預金	515	365	▲149
その他	340	340	0
固定資産	1,994	2,094	99
有形固定資産	1,290	1,391	101
無形固定資産	210	193	▲17
投資その他の資産	494	509	15
資産合計	2,849	2,799	▲50

	前期末	当期末	増減額
流動負債	737	785	49
短期借入金	249	229	▲20
1年内返済予定長期借入金	82	156	75
その他	406	400	▲6
固定負債	1,973	1,775	▲198
長期借入金	1,846	1,654	▲192
その他	126	120	▲6
負債合計	2,709	2,560	▲149
純資産合計	139	239	99
負債・純資産合計	2,849	2,799	▲50

○新規出店（ベビーフェイスプラネッツ札幌手稲店他）により、固定資産が増加

1. 営業店舗の出店・退店・改装

- ①ベビーフェイスプラネット札幌手稲店出店（4月）
 - ②かつてんイオン桑園店（5月：FC店の直営化）
 - ③ミスタードーナツ苫小牧バイパスショップ改装（7月）
 - ④かつてん弘前ヒロロ店閉店（8月）
 - ⑤ミスタードーナツ ルーシー大谷地ショップ・八戸ラピアショップ・イオンモール盛岡ショップ改装（10月）
 - ⑥モスバーガーモルエ中島店改装（11月）
- ⇒次年度は4店舗の改装を計画している。



2. 特定技能外国人の雇用

人材不足解消と今後の海外展開を見据え特定技能外国人の雇用を開始。

⇒前期10人採用、当期8人採用。

⇒次年度は10人の採用を計画している。



3. 製造・卸売事業

- ①子会社TOMONIゆめ牧舎の廃用牛を活用した商品開発・展開
- ②保有のカシス農園のカシスを使用したカシスリキュールの販売開始

商品のブラッシュアップ及び2次加工品を開発販売することで原材料高騰の影響を緩和。今後の営業力強化を見据え人員を強化、育成を進めたことで人件費が増加したため、前期を下回る結果となった。



4.子会社TOMONIゆめ牧舎

生乳買取価格は上昇、飼料価格単価は減少し経営環境が改善している。

- ①生産量増産に向け乳牛購入
搾乳頭数増により生産乳量が増加し、売上高前期比129.9%となった。
- ②飼料費削減に向けデントコーン作付の更なる拡大。
- ③廃用牛の加工、商品化⇒かつてんメニュー化、リテール販売
- ④補助金等の減少（営業外収益）により経常利益はやや下回った。



単位：千円

科目	当期	前期	対比	差異
売上高	215,673	166,050	129.9%	49,623
売上原価	200,821	170,268	117.9%	30,553
売上総利益	14,852	▲4,218	-352.1%	19,070
販売費一般管理費	47,320	40,475	116.9%	6,845
営業利益	▲32,468	▲44,693	72.6%	12,225
営業外収益	37,755	50,917	74.2%	▲13,162
営業外費用	1,465	1,253	116.9%	212
経常利益	3,822	4,971	76.9%	▲1,148

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料の内容及び資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合であっても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。